

# オフィスにおける取り組み

理想科学は、オフィス（営業・サービス拠点など）においても、環境負荷低減に向けて、環境に配慮したさまざまな取り組みを行っています。

## オフィスの環境負荷削減活動

理想科学は、日本全国に約40カ所の営業拠点を設けており、電力、ガスなどのエネルギーや水を使用しています。生産・開発拠点に比べ、使用量は少ないものの、従業員の割合は過半数を占めることもあり、環境配慮に対する意識啓発を含め、さまざまな取り組みを推進しています。

### オフィスにおける環境負荷（2005年度）

※集計範囲：国内営業拠点（43カ所）

電力使用量：2,503,246kwh

LPG使用量：51m<sup>3</sup>

LNG使用量：302m<sup>3</sup>

水道使用量：1,774m<sup>3</sup>

## 営業本部の環境活動

営業本部は、2005年度に5拠点でISO14001認証取得活動を実施したこともあり、具体的な環境目標を設定し、その達成に向けて活動を行いました。

### グリーン購入法適合製品の販売額

目標：2004年度比2%増加

実績：2.6%（達成）

### 社内業務用の紙の削減

目標：2004年度比3%削減

実績：28.6%削減（達成）

## 廃棄物の削減

### 芝浦事業所の取り組み

芝浦事業所では、廃棄物の最終処分量を削減するため、2004年9月から、廃棄物の分別の徹底と再資源化を推進しています。廃棄物の分別種類を、従来の6種類から10種類に増やし、専用容器の設置と表示を行っています。ミックスペーパーやシュレッダーくずまでも再資源化しています。また、廃棄物の分別の徹底を図るため、従業員に対する教育も実施しています。

これらの結果2005年度は、廃棄物排出量が2004年度比15%削減、また再利用率も約10%向上しました。

## グリーン購入の推進

### オフィス（営業・サービス拠点など）での取り組み

文房具・事務用品を購入する際は、グリーン購入法への適合やエコマーク商品などの商品情報を参照のうえ購入しています。

2005年度のグリーン購入金額は4,946,503円で、購入額の38%を占めます（購入総額：13,019,459円）。2004年度比では、9%増加しました。

集計範囲：本社を含む営業拠点

### 生産事業所での取り組み

【筑波事業所（開発技術センター含む）】

2005年度も引き続き、対象物品の総購入金額に対するグリーン購入金額の比率を、2006年3月末までに93%以上にするという目標を掲げて活動しました。その結果96.1%を達成することができました。

【宇部事業所】

各部署単位で目標を設定し、グリーン購入を進めています。調達管理課のグリーン購入件数は2004年度に比べて1.7ポイント向上し、49.7%となっています。